

あんてな

あんてなは2020夏号から配布方法が変わり、今後は広報あんじょう折り込みで概要版をお届けします。
詳細は4ページをご覧ください。

夏季講座の中止とオンライン講座 「おうちでできる生涯学習」 配信のお知らせ

例年7～9月に開講している夏季の公民館講座は、新型コロナウイルス感染症対策のため、全て中止します。

これに代わり、自宅で受講できる「おうちでできる生涯学習」動画を市公式ウェブサイトで配信しています。

子どもから大人まで楽しめるコンテンツをどなたでも無料でご利用いただけますので、ぜひご覧ください。

望遠郷

→

総合メニューから探す

→

学ぶ

→

生涯学習事業

→

公民館講座



オンライン講座の動画を募集します！

市生涯学習課では市内在住・在勤の18歳以上の方を対象に、オンライン講座の動画を募集します。

分野は芸術文化、スポーツ、手工芸、食育、多文化共生など生涯学習に関するものとし、審査のうえ採用された動画は、市公式ウェブサイト及びYouTubeで配信します。

対象動画

- (1) 応募者自身が制作する、オンラインで未発表のもの
- (2) 10分程度を目安とする動画（上限15分以内）
- (3) スマートフォンなどで撮影したもの也可
- (4) 静止画のスライドショー等也可

応募期間

令和2年7月15日（水）～8月31日（月）

（募集人数に達した段階で応募の受付を終了する場合があります。）

応募点数及び採用謝礼

1人1作品のみ 1作品あたり6,000円

募集人数

30人

*応募いただいた方につきましては安城市の生涯学習講師として登録させていただきますが、公民館講座等で講師をお願いする場合があります。

詳しい応募方法は市公式ウェブサイト「公民館講座」のページをご確認ください

応募先・問い合わせ 生涯学習課 電話 76-1515

令和2年度に開催を予定していた「乳幼児学級」「家庭教育学級」「高齢者教室」「シルバーカレッジ」は、新型コロナウイルス感染症対策のため、全て中止します。来年度の受付方法等については、令和3年4月発行予定のあんてな2021春号でお知らせします。

通常、冊子版のみでご覧いただける文化・スポーツに関するコラムを今号のみ概要版に掲載しますので、ぜひおうち時間にお楽しみください。

文化財ジャーナルVol.54

本證寺の竜宮伝説 ～返し忘れにご注意を！～

本證寺は安城市野寺町にあるお寺で、浄土真宗の名刹です。文化財の宝庫で、国・県・市指定のものは 32 件もあります。今回はその中から不思議な伝説のあるお碗を紹介します。



本證寺

垣薦文組碗

安土桃山時代に作られた漆塗りの木碗で、4口あります。その大きさは一番小さいものが高さ3cm、一番大きいものが9cmです。昭和33年（1958年）愛知県の指定文化財になりました。

漆碗は黒無地が多いですが、これは黒漆の上に朱漆で格子の垣根に薦が巻き付く文様を描き、葉の線は掻き落としという技法を用いています。このことから「垣薦文組碗」と呼ばれています。



垣薦文組碗

借りたおわん―貸碗伝説―

～むかしむかし、本證寺には清水が湧く底なし池があり、その池で使用人はお碗や野菜を洗っていました。ある日、寺の和尚さまから大事な客が何人も来るから準備をしておくようにと言われました。しかしお碗の数が足りず、どうにもできなかった使用人は底なし池は竜宮に通じている、という和尚さまの話を思い出し、池にお願いをしました。すると、池の底から美しいお碗が5組浮いてきました。このお碗をお客様に出すことによって使用人は難を乗り越えることができました。

お客様が帰ったあと、この話を聞いた和尚さまが「竜宮に返すべきだ」と言い、使用人はお碗を返しました。

それから、お客様が来るたびに竜宮にお碗を頼んでいましたが、ある日一組だけ返すのを忘れてしまいました。その日からお碗を頼んでも出てくることは一度もありませんでした。～



本證寺位置図

この伝説の中に出てくる池が本證寺の境内にある「竜宮池」であり、返し忘れのお碗が「垣薦文組碗」であると伝えられています。



現在の竜宮池とそこに架かる竜宮橋

竜宮について

こうした竜宮にまつわる伝説は、海辺や川のあるところに多くみられます。竜宮には竜がすんでおり、日本では水を司る神（竜神）として祀られているからです。古くから竜神がすんでいるとされるところでは雨乞いが行われたり、漁村では竜宮の神たちを祀って豊漁を祈願したりするなど、竜神は昔から日本人の生活と密接に関わっています。

本證寺と同様に三河三ヶ寺のひとつである上宮寺（岡崎市）にも、竜神に関する話が伝えられています。寺の前にある大蛇がすむ池に、竜神にお願いをするお経を石に書いて投げ入れると、竜神の力で大蛇を追い出したというものです。この伝説でも身近な池とむすびつけられた竜神は、人々の願いをかなえる存在であることがうかがえます。

みなさんも、急な来客でお碗や皿が足りない時は、本證寺の竜宮池にお願いをしてみると竜宮からお碗を借りられるかもしれません。でも、返し忘れにご注意を！

問い合わせ 文化振興課（歴史博物館内） 77-4477

芸術
みどころ
コラム

市民ギャラリー企画展

動きの表現 ―からだ・もの―



乃村豊和《微かな旋律》

乃村豊和は1949年、愛知県知立市に生まれました。10代に独学で油彩、彫刻、墨画などを制作し、20代には岡崎市出身の画家上原欽二さんに師事します。そして、1982年「第59回春陽展」で最高賞の「春陽会賞」を受賞しました。その後も個展の開催やポスターの制作依頼を受けるかたわら、音楽家や舞踊家とパフォーマンスやイベントを行うなど、活動の幅を広げました。

風景や植物、静物など、乃村さんは様々なモチーフの作品を描いています。中でも人物、特に今回紹介する作品《微かな旋律》

文化の花園ようこそ

グループ紹介
文芸（俳句）

北辰俳句会



テレビで人気の俳句の才能を査定する番組が、面白いのでよく見えています。

そこで私も一句

- 段々の水面にうつる山桜
- 買物のおまけのパンジー咲き続く

この句を今日の句会に出そうと思っています。句会は、月一回（第2金曜日）アンフォーレで開催しています。

「北辰俳句会」は昭和40年に発足して55年になります。特に指導者はいません。米寿のお二人を中心に作句と披露をしています。そろっての吟行会は難しくなりましたので、身近な自然やそれぞれの暮らしぶりを詠んで楽しんでいます。俳句に関心のある方、一緒に楽しみませんか。

連絡先 佐藤真知子 75-7936

にも登場する、バレリーナを描いた作品が数多くあります。なぜ、バレリーナを描き続けたのでしょうか。

人物に興味が尽きなかった乃村さんですが、“装っている”人の姿を描くのは好きではなかったそうです。“装っている”姿は作られた美しさであり、その人の本質ではないと考え、「ふと漏らした言葉に真実が見え隠れるように、さり気ない所作にその人となりを感じ、とてもひかれます。」と述べています。ふと意識が抜けたときに表れるのがその人の真実であり、その虚脱感に美を感じ魅惑されるといいます。乃村さんの人物画の特色である、どこか物憂げで奥深い雰囲気は、このような観察眼があってこそなのでしょう。

乃村さんは、「観られること魅せることで練成されたバレリーナのたおやかな振る舞いや素振りは私をして扇情的にもさせます。」とも述べています。美しく魅せるために“装う”ことが本質であるバレリーナの“装っていない”動きに惹かれ、バレリーナを描き続けたのかもしれませんが。そのためか、乃村さんの描くバレリーナは舞台上で踊ってはならず、脱力して椅子に座ったり、ぼーっと遠くを見つめたりしているものが多いのです。

今秋市民ギャラリーで開催される企画展「動きの表現―からだ・もの―」では、市民ギャラリーコレクションの中から選りすぐった作品を展示します。さまざまな「動きの表現」を、ぜひ会場でご覧ください。

令和2年10月9日(金)～10月18日(日)
市民ギャラリー 展示室D・E
入場無料 月曜休館

参考文献:『乃村豊和画文集 序曲』1996年7月 創藝社

問い合わせ 市民ギャラリー 77-6853

問い合わせ 安城文化協会事務局 74-6066
市民ギャラリー 77-6853

グループ紹介
美術

絵画造形教室たけのこ

近所の人に頼まれ
絵画教室を始めて、
20年ほど経ちました。

現在では、幼児から淑女まで多くの方が、絵画や造形など幅広く美術活動を行っています。普段は専門的な基礎講座から、デッサン、洋画、水彩画、アクリル画、



イラストレーション、スカルプチャー等をやっており、その他にもマンガ、PCを使ったデジタルアート作品作りを行う方もいます。

趣味の方だけでなく、受験対策の学生や現役教師・プロなどで、スキルアップが目的の方もいます。会員の中には自閉症の方もみえその作品も高く評価されています。

会の特色ですが、表現する心の豊かさを味わうことに価値があると認識している方ばかりで、既存の概念にとらわれず、出身や年齢に関係なく、情報交換しながら楽しんでいます。地元の会員だけでなく、当方講師の拠点である米国西海岸の会員ともスカイプやZoomで交流しており、近年は展覧の場も海外が多いです。若い世代はSNSを使って発表する方も増えています。また、動物園やビーチコーミングなどスケッチを兼ねての遠足等イベントも豊富です。

連絡先 酒井 猛 72-2123



スポーツだより

「ボッチャを知っていますか」

今回はボッチャについて紹介します。

「地上のカーリング」と呼ばれるパラリンピックの正式種目で、もともとは重度の脳性麻痺等で運動能力に障がいがある人向けに考案されたスポーツです。前回のリオ大会で日本はメダルを獲得しており、東京2020パラリンピックでもメダル獲得に期待がかかる注目の競技です。

・ルール

ジャックボールと呼ばれる白い目標球に、ボールをいかに近づけられるかを競います。1エンド6個ずつ赤と青のボールを投げたり転がしたりして近づけます。エンド終了時、ジャックボールにもっとも近いボールを投げた側に得点が入ります。

安城在住のボッチャプレイヤー うめむらつき 梅村祐紀選手

日本選手権にも出場し、今後の活躍が期待される梅村選手にインタビューしました。



ボッチャのよいところ

「ボッチャはどんな人でもできるスポーツで、老若男女問わず、障がいの有無も関係なく、だれでも一緒にできるのがいいところだと思います。」

得意なプレー・戦略

「アプローチ(=ジャックボールにボールを近づけること)が得意です。狙ったところにボールを近づけることができたときは、とてもうれしいです。また、キャプテンとして国際大会を戦った経験から、メンバーをまとめてチーム力を高めることができるのも自分の強みだと感じています。」

今後の目標

「日本選手権などの目の前の試合が大切と考えています。一歩一歩勝利を大事にしていき、その先の大きな目標としてパラリンピックがあると思っています。」

スポーツ推進委員の瀬戸井さんのお話によると、ボッチャは戦略がたくさんあるので、次に投げる人のことを考え相手チームの戦略を読み、頭をたくさん使いながらプレイします。最終投球で大逆転することもあり、最後の最後まで目が離せません。ルールは簡単でやりだすと夢中になってしまうほど奥深いスポーツだそうです。

市内では、スポーツ推進委員によるボッチャ教室があります。また東祥アリーナ安城で、市内団体を対象に道具の貸し出しをしています。詳しくはホームページをご覧ください!

問い合わせ スポーツ課(東祥アリーナ安城内) 75-3535

あんてな 2020 夏号から配布方法が変更になりました!!

① 生涯学習情報誌あんてな(概要版)

広報あんじょう(7月号、9月号、11月号、4月号)折り込みで市内全戸にお届けします。概要版には、公民館などで行われる講座・イベントの概要を掲載します。

② 生涯学習情報誌あんてな(冊子版)

市内公共施設(へきしんギャラクシープラザ、地区公民館など)で配布します。これまでの「あんてな」と同じく、概要版より詳しい講座・イベントの内容やコラムを掲載します。(具体的な配布場所につきましてはお問い合わせください。)

- ただし、今号については新型コロナウイルス感染症対策のため、夏の講座・イベントの中止が決定しているものが多くあるため、生涯学習情報誌あんてな(冊子版)の発行をしていません。開催するものについては市HP等でご案内しています。
- 今後、新型コロナウイルス感染症の影響により、あんてな(概要版)の発行時期の変更やあんてな(冊子版)の発行を中止する場合があります。

安城市ホームページ(望遠郷)からもご覧いただくことができます。QRコードまたは以下からご覧ください。

望遠郷 → 総合メニューから探す
→ 学ぶ → 生涯学習事業 →
生涯学習情報誌「あんてな」



これからも「あんてな」をよろしくお願いいたします。

問い合わせ 生涯学習課(へきしんギャラクシープラザ内) 76-1515